公益財団法人8020推進財団 令和6年度 歯科保健活動助成事業報告書[抄録]

1. 事業名:

地域歯科保健サポート事業【人材バンクとネットワーク形成】

2. 申請者名:

特定非営利活動法人 はーもにープロジェクト

3. 実施組織:

特定非営利活動法人 はーもにープロジェクト

4. 事業の概要:

各小中学校に配置されている地域支援員(地域教育コーディネーター)の役割に着目し、学校現場における歯科保健活動への関与を促進するための研修および実践活動を展開した。令和 6 年度は、新潟市内の養護教諭を対象とした研修会を開催し、地域支援員との連携方法についての理解を深めるとともに、歯科健診や保健指導における協働の具体的な手法を学ぶ機会を提供した。さらに、弥彦小学校を中心に、地域支援員と連携した歯科健診の補助や児童向けの歯科保健指導を行い、保護者や祖父母も参加する「子どもデンタル塾」を通じて家庭との連携も強化した。また、地域支援員同士のネットワークを構築し、学校単位の取り組みを地域全体へと拡大するための施策を推進した。これにより、地域住民の歯科保健意識の向上と、学校・行政との連携体制の基盤づくりを図った。

5. 事業の内容:

本事業では、地域支援員を歯科保健活動の担い手として位置づけ、学校現場での実践と連携体制の強化を進めた。まず、養護教諭を対象とした研修会を新潟市内で開催し、地域支援員の役割や活用方法について具体的な事例を交えながら解説した。研修では、養護教諭が地域支援員と連携して歯科保健活動を行うための手法を習得する機会を設けた。次に、弥彦小学校において地域支援員と連携した歯科健診の補助業務や児童への歯科保健指導を展開した。加えて、歯科医師や歯科衛生士を講師に迎えた「子どもデンタル塾」を開講し、児童・保護者を対象に、歯の健康維持の重要性についての学びを深めた。また、地域支援員同士の情報共有を目的とした会議を実施し、行政関係者との連携強化や取り組みのガイドライン整備を進めた。これらの活動を通じ、地域歯科保健活動の推進体制を地域全体へと拡張するための基盤を形成した。

6. 実施後の評価(今後の課題):

本事業を通じて、養護教諭と地域支援員との連携体制が強化され、地域歯科保健活動の新たな展開に向けた基盤を築くことができた。研修会では、参加者から「地域支援員の活用方法が具体的に理解できた」との声が多く寄せられ、実践に向けた意欲の向上が見られた。また、「子どもデンタル塾」では、児童から「歯科衛生士になりたい」という声が上がるなど、子どもたちの歯科保健に対する関心が高まったことが評価される。学校側からも、地域支援員の役割や活用の方向性に対する理解が進んだとの報告があり、学校と地域の協力体制が確実に進展している。一方で、今後の課題として、他市町村への取り組みの水平展開に向けた支援体制の整備が挙げられる。行政との連携強化や学校ごとの状況に応じたプログラムのカスタマイズが求められている。また、地域支援員の役割のさらなる明確化と継続的な研修機会の提供も必要である。今後は、複数の学校が連携した保健チームの形成や、放課後活動を活用した保健学習の仕組みづくりなど、多様なアプローチを取り入れた展開が期待される。